【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公表番号】特表2009-535419(P2009-535419A)
【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)
【年通号数】公開・登録公報2009-039
【出願番号】特願2009-509989(P2009-509989)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　36/47　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/78　Ｌ
Ａ６１Ｋ　35/78　Ｃ
Ａ６１Ｐ　1/12
Ａ６１Ｐ　1/10
Ａ６１Ｐ　1/06

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月20日(2010.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
クロトン属の種又はカロフィルム属の種から単離される抽出物又はラテックスを含む便秘型過敏性腸症候群（ｃ－ＩＢＳ）の治療剤。
【請求項２】
クロトン属の種又はカロフィルム属の種から単離される重合プロアントシアニジン組成物を含む便秘型過敏性腸症候群（ｃ－ＩＢＳ）の治療剤。
【請求項３】
投与量が、２５０ｍｇ／日～４０００ｍｇ／日のクロフェレマー経口投与用量と生物学的に同等である、請求項１又は２に記載の治療剤。
【請求項４】
重合体組成物が、カテキン、エピカテキン、ガロカテキン及びエピガロカテキンからなる群から選択される少なくとも１つのモノマー単位を含む、請求項２に記載の治療剤。
【請求項５】
重合プロアントシアニジン組成物がクロフェレマーである、請求項２に記載の治療剤。
【請求項６】
クロフェレマーが２５０ｍｇ／日～４０００ｍｇ／日の量で経口投与される、請求項５に記載の治療剤。
【請求項７】
治療がｃ－ＩＢＳの１つ又は複数の症状を軽減させることを含む、請求項１又は２に記載の治療剤。
【請求項８】

症状が疼痛又は腹部不快である、請求項７に記載の治療剤。
【請求項９】
疼痛又は不快が少なくとも１０％軽減される、請求項８に記載の治療剤。
【請求項１０】
症状が便秘又は正常未満の排便回数である、請求項７に記載の治療剤。
【請求項１１】
便通が週につき少なくとも１回増加することにより、排便回数が増加する、請求項１０に記載の治療剤。
【請求項１２】
クロトン属の種又はカロフィルム属の種から単離される抽出物又はラテックスを含む便秘／下痢交代型過敏性腸症候群（ａ－ＩＢＳ）の治療剤。
【請求項１３】
クロトン属の種又はカロフィルム属の種から単離される重合プロアントシアニジン組成物を含む便秘／下痢交代型過敏性腸症候群（ａ－ＩＢＳ）の治療剤。
【請求項１４】
投与量が５０ｍｇ／日～４０００ｍｇ／日のクロフェレマー経口投与用量と生物学的に同等である、請求項１２又は１３に記載の治療剤。
【請求項１５】
投与量が５００ｍｇ／日～１５００ｍｇ／日のクロフェレマー経口投与用量と生物学的に同等である、請求項１４に記載の治療剤。
【請求項１６】
重合プロアントシアニジン組成物がクロフェレマーである、請求項１３に記載の治療剤。